

上小阿仁村の高橋旅館 受験生「十割」合格を

中3生にそば振る舞う



受験生全員の合格を願い、上小阿仁村沖田面の高橋旅館（高橋健生店主）が30日、高校入試を控えた地元・上小阿仁中学校の3年生9人を招き、合格率「十割」とかけて名物の十割そばを振る舞った。

「合格」と書かれた鉢巻き姿の受験生を代表し、加賀

谷美博さんが「全員で合格できるように、一人一人が勉強を頑張ります」とあいさつ。高橋店主の孫で上小阿仁小4年の武石一颯君が「合格祈願」の文字と参加生徒の名前が入った友倉神社の絵馬を、受験生一人一人に手渡した。

それぞれ注文したざるそばやかけそば、天ぷらなどのセットがテーブルに運ばれると、受験生から「おいしそう」と声が上がった。全員で「いただきます」と手を合わせ、そばをすすって味わうとともに、受験に向けた英気を養った。

旅館従業員の高橋渉さん(54)は「十割そばにあやかって、何とか全員合格してほしい」とエール。上小阿仁中の三浦靖元さんは「十割そばは初めて食べたがとてもおいしかった。全員合格できるように頑張る」と話していた。（小松田直嗣）

（令和6年2月1日（木）秋田魁新聞より一部抜粋）